



いのち・絆・学び

山辺町立山辺中学校 学校だより

令和3年11月15日発行 第7号 文責:校長

「第60回創立記念式典」 校長式辞より(抜粋)

遠くに見える山々もすっかり赤や黄色に染まり、ここ山辺の里・清水の地にも秋の深まりが感じられる季節となりました。この秋の佳き日、御来賓の皆様のご臨席を賜り、山辺町立山辺中学校第60回創立記念式を行うことができますことに心より感謝申し上げます。

歴史と伝統ある本校は、新校舎となり今年で7年目となりました。地域の皆様との絆を深めようと新型コロナウイルス感染症の影響が続く中でも、通学路への花植など地域に貢献できることを考え実行してきました。

また、今年度は作谷沢中学校と統合し新生山辺中としてあらたなる一步を踏み出し「命を大切にし絆を深め学び 続ける生徒の育成」という教育目標達成に向け、コロナ禍でも学びを止めずできることを工夫して学校生活を送っています。

それでは、昨年度より続くコロナ禍での学校の取り組みについてご紹介いたします。

令和3年度は山辺中と作谷沢中が統合して生まれた新生山辺中の開校式から始まりました。開校式の中で、作谷沢中学校の代表の生徒は「私たちはこの山辺中学校の一員として新たに歩み始めます。新たな大勢の仲間と共に学べることを楽しみにしています。これまで、作谷沢中学校で身につけてきた力をこの山辺中学校で生かしていきたいです。」とあいさつしました。また、山辺中学校の代表生徒は「私はこの統合と創立60周年の年が重なることは、特別な意味があると思います。この特別な年を全校生徒で素晴らしいものにしていきましょう。先輩方が今まで築いて下さった伝統を大切に、私たちで新たな山辺中学校を創っていきましょう。」とあいさつをしています。

その日の午後には入学式を行いました。コロナ禍の入学式のため新入生とその保護者のみで実施しました。全校生と411名で令和3年度が本格的にスタートしました。

(中略)

今年度の部活動では、音楽部の県大会での金賞、運動部の県大会へ100名を超える生徒の参加、駅伝チームの本校初の男女東北大会出場などめざましい活躍がありました。

また、学校行事では、これまで運動会、合唱コンクールと呼んでいたものを今年度新生山辺中学校としてスタートすることを機会に、それぞれ紅白の陣、合唱の陣と名前を変え二つの行事をまとめ愛宕祭(あたごさい)として開催しました。

毎日の学校生活の一つ一つの活動のねらいを生徒が意識して、これからもメリハリのある学校生活を本校の特色として大切にしていきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症は今後どのような動きをするかなかなか予測が付きません。しかし、私たちはこれからもコロナ禍でもできることは何か考え、学びを止めずに毎日の学習・生徒会活動・部活動などに取り組んでいきたいと思えます。

生徒の皆さん、本校教育目標のキーワード「いのち」「きずな」「まなび」三つの言葉をいつも心に刻んで、皆さんの手で新生山辺中の新たな歴史を築いていきましょう。

最後に本日ご臨席いただきました御来賓の皆様、今後とも本校生徒を暖かく見守り頂き地域社会に貢献する大人に成長しますようにお力添えをよろしく願いいたします。これからも山辺中学校が70年・80年と着実に歴史を積み重ねていくことを祈念いたしましてあいさついたします

「生徒代表の言葉」より

生徒会長

秋も一段と深まり、寒さが身に染みる季節となりました。今年、山辺中学校は創立六十周年を迎えました。また、今年度から作谷沢中学校と統合し、新生山辺中としてのスタートを切る年ともなりました。私たちはこの節目の年に、生徒としていられるということ、また、このような式典に参加できますことをたいへん嬉しく感じております。六十年という長い歳月の重みは、私たちの想像の遠く及ばないところです。その間、先輩方には喜びや悲しみ、そして数々の栄光、時には挫折、一言では語り尽くせないたくさんのドラマがあったと思います。これらを思うと、今更ながら、この山辺中学校に身を置き、学んでいられることに幸せと責任の重さを感じます。

今年度の生徒会二大行事は「合唱祭」を「合唱の陣」、「運動会」を「紅白の陣」と名称を変え、その二つをまとめて「あたご祭」と称し、新たな形で取り組んできました。今年度もコロナ禍での取り組みとなりましたが、生徒会スローガン「HERO～ひとりひとりが主役～」を目標に、全校生徒ひとりひとりが主役となり活動しました。この「あたご祭」での経験が学校生活に生かされ、学校の目標である「私たちは、いのちを大切にし、絆を深め、学び続けます」という言葉に、また一歩近づけたと感じています。

最後に、私たちが将来、多くの人と出会い、「いのちを大切にし、絆を深め、学び続ける」ことで成長し、未来の日本の原動力となっていくことをここに誓い、生徒代表の言葉といたします。

読み聞かせの会

10月25日(月)・10月27日(水)・10月28日(木)の3日間、やまのべまち図書ボランティア「てんこもり」さんから読み聞かせのボランティアをいただきました。「てんこもり」さんは山辺町を中心にして読書会や、朗読活動をされている団体です。本校も春と秋の2回、読み聞かせの会をいただいてきましたが、新型コロナウイルスの流行のために昨年度と今年度は秋だけの活動になってしまいました。通常は教卓を囲むようにして聞くのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、授業時と同じ机の配置でお聞きしました。それでも、場面や登場人物の心情に寄せて工夫された話術の巧みさで、生徒はみんな引き込まれていった様子です。大変ありがとうございました。



生徒会役員選挙

11月4日(木)に生徒会立ち会い演説会、並びに生徒会役員選挙が行われました。総勢17名の立候補者が2分以内で自らの公約を発表する演説を行いました。全員の熱意溢れる演説は、全校生の胸をうち、一言も聞き漏らさないぞという気迫も体育館の全校生からは伝わってきました。できれば立候補者全員が生徒会役員になってほしいのですが、そこは選挙です。当選者もいれば惜しくも当選できなかった人もいます。でも、これからの山辺中を、全校生でもりあげてほしいと思いました。